

# トマト黄化葉巻病の発生と防除対策



トマト黄化葉巻病の被害株

**トマト黄化葉巻病**・・・ TYLCV (Tomato yellow leaf curl virus) を病原体とするウイルス病です。

和歌山県では、平成16年9月に日高地域のミニトマトで初めて本病が発生し、平成17年に入ってから発生が確認されています。

この病気はシルバーリーフコナジラミによってのみ伝搬され、トマト、ミニトマト及びトルコギキョウに感染し、伝搬率が非常に高く、発病株は着果しなくなることから、甚大な被害を及ぼします。

現在、県内における発生地域は拡大傾向にあります。トマト黄化葉巻病と媒介虫シルバーリーフコナジラミの生態を理解し、適切な防除対策を実施しましょう。

和歌山県農林水産部